



平成 29 年 2 月 3 日

各位

会 社 名 日 東 紡
代表者名 取締役代表執行役社長 辻 裕一
(コード：3110、東証第 1 部)
問合せ先 執行役 野崎 有
(TEL. 03-4582-5040)

日東紡グループ 長期ビジョンと中期経営計画について

日東紡は、6 年後の 2023 年 4 月 1 日に創立 100 周年を迎えます。
当社グループが次の 100 年も持続的な成長を目指すために、101 年目である 2023 年度をターゲットとする目指すべき企業像『長期ビジョン 101』と、2020 年度までの 4 年間を対象とした『日東紡グループ 中期経営計画 《Go for Next 100》』を策定いたしました。

今後の事業運営に当たっては、以下を基本方針とし『長期ビジョン 101』の実現を目指します。

- ①社内外に風通しの良い日東紡グループを目指す。
- ②研究・技術開発なくして日東紡の発展はありえない。
- ③コーポレートガバナンスの構築と不断の見直しを行う。

1. 日東紡グループの目指すべき企業像

当社グループは今、次の100年に向けた土台を築く時期であると考えています。当社が基盤を置く日本国内で生き残りを図ると同時に、世界に目を向け、日東紡グループの持続的な成長を目指すことが、我々のステークホルダーに対する責務であると考えます。

このために、次の100年のスタート（101年目）である2023年度に以下の企業像を実現したいと考えます。

○目指すべき企業像（ビジョン） 『長期ビジョン101』

「顧客と技術を基軸とした、特色ある事業・商品群を持ち、
創業の地・福島から、そして日本から 世界へイノベーション（革新）を発信し続ける企業」

<各事業の目指すべき姿>

【繊維事業】

商品の高付加価値化を推進し、繊維技術の産業資材分野への応用を進め、小さくてもしっかりと稼げる事業にする。

【グラスファイバー事業】

市場環境が大きく変化する中で、顧客に高付加価値商品を安定的に供給し、ガラス繊維業界のリーダーとしての地位を確固たるものにする。

【環境・ヘルス事業】

体外診断薬事業、スペシャリティケミカル事業、飲料事業のそれぞれで強みを活かした成長を図り、日東紡グループの「第二の柱」とする。

○数値目標

	現状	(単位:億円)
		2023年度
売上高	835	1,500
営業利益	110	150
経常利益	110	150
当期純利益	70	100
ROE(%)	9.2%	10%以上
有利子負債(NET)	100	実質ゼロ
自己資本比率	55.6%	70%
格付(R&I)	BBB+	A

2. 日東紡グループ中期経営計画 《Go for Next 100》の概略

2017年度から2020年度の4年間で、2023年度『長期ビジョン101』の実現に向けて、現在の収益性を持続できる基盤を確立した上で、将来の成長のチャンスを捉える重要な第一ステップと位置付けます。

○テーマ

《Go for Next 100》～変革と創造への挑戦～（2017～2020）

○重点施策

〈営業戦略〉 高付加価値戦略推進

1. 高付加価値繊維の拡販（NE ガラス/T ガラス/多層構造糸）
2. 複合材・産業資材向けガラス製品の多用途展開、海外シェア拡大
3. 免疫血清製品の国内首位確立と海外展開
4. 戦略的提携、M&A の活用

〈生産体制〉 高付加価値品の生産能力強化、コスト競争力強化、生産性向上

1. NE ガラス/T ガラスの生産能力増強
2. 高付加価値クロスの生産対応
3. 体外診断薬の生産力整備・増強
4. 繊維技術の産業資材分野への応用
5. AI・IoT 活用による生産性向上

〈研究開発〉 次世代・次々世代の高付加価値追求

1. 中長期テーマ推進のための体制整備（総合研究所新設）
2. マーケットイン型開発体制構築

〈環境対策〉 環境負荷低減目標の設定

〈経営基盤〉 健全な経営基盤の構築

1. 資本効率の向上（遊休不動産等の活用、保有有価証券の圧縮）
2. 人材育成、技能継承
3. ガバナンスの強化

○経営目標

	現状	2020年度
売上高	835	1,000
営業利益	110	120
経常利益	110	120
当期純利益	70	80
ROE(%)	9.2%	8%以上
有利子負債(NET)	100	100以下
自己資本比率	55.6%	60%以上
EBITDA	150	200
研究費売上比率	1.5%	2.0%以上
設備投資(4年間累計)	172	550

為替 通期見通し 108円/US\$

100円/US\$



(単位:億円)

○財務戦略と株主還元方針

営業キャッシュフローと資産活用により獲得した資金を、成長投資を中心とした設備投資に重点的に配分しつつ、ネット有利子負債の削減と株主還元をバランスよく実施いたします。

株主還元方針につきましては、安定的な配当の成長を基本としたうえで、配当性向（業績連動）を視野に入れ決定してまいります。また、時々の財政状況に応じて機動的・弾力的な株主還元を検討してまいります。

3. 終わりに

日東紡グループは2006年に全社員の行動指針として『日東紡宣言』を作成いたしました。年々環境の変化が速くなる中、この『日東紡宣言』については次の100年においても変わらないものと考えます。

当社創立100周年に向け、また次に続く100年に於いても、『日東紡宣言』を実践し、社会から信頼される日東紡グループを目指します。また、当社が持続的な成長を果たすことにより、福島の復興に貢献いたします。

(参考)

日東紡宣言

- ・ 日東紡グループは社会の「ベストパートナー」を目指します（日東紡BP宣言）。
- ・ 私たちは、お客様の求めるものを絶えず追究し、お客様に「安心と信頼」を確実にお届けすることを喜びとします。また、企業活動を通じ株主・投資家・行政・地域社会等すべてのステークホルダー（社会）と共に喜びを分かち合うことを大切にします。
- ・ 私たちは自立した一人ひとりの社員の可能性を尊び、自由闊達にアイデアを出し合いながらチームワークにより力を発揮する企業集団を目指します。
- ・ 私たち企業グループは社員の成長が会社の成長であることを信じ、社員に成長と自己実現の機会を提供します。社員はまず第一に良き市民であり、深く考え、広く見渡し、果敢に行動します。そして粘り強くやり遂げます。

<深く 広く 強く そして温かく>

(ご注意)

本資料に記載されている予想数値並びに事業計画は、種々の前提に基づくものであり、将来の業績数値や施策の実現を確約・保証するものではありません。

以上